



## 部会の窓 鍋倉城跡の空撮を行いました



▲本丸館跡でのドローンを使用した空撮の様子

3月下旬、鍋倉城跡の空撮を行いました。その立地や構造を捉えるため、様々な角度から撮影を試みました。その内1枚が下の写真です。

鍋倉城は、天正年間(1573-1592)に阿曾沼氏によって築かれたとされる山城です。寛永4年(1627)に遠野南部氏の領地となってからは、明治2年(1869)の廃城まで遠野南部氏の居城として機能していました。これまで本丸、二の丸で発掘調査が行われており、特に本丸の屋敷跡からは小石を敷き詰めた玄関の跡や建物の礎石、陶磁器などが見つかっています。



鍋倉城空撮写真。右上の白茶けた平場が本丸。中腹に南部神社が見える。

## 部会の窓 市指定史跡 東禅寺跡の調査を行いました

4月22日(木)附馬牛町の東禅寺跡を調査しました。今回の調査は国有林の間伐に伴うもので、岩手南部森林管理署遠野支署と岩手県教育委員会、遠野市文化課と合同で、東禅寺跡の範囲を確認しました。

東禅寺は、14-15世紀ごろ無尽妙什和尚によって創建されたとされる寺院です。江戸時代に盛岡に移り、遠野市にはその遺跡が残るのみですが、昭和33年の発掘調査では、総門、三門、仏殿、法堂、方丈などの跡が発掘されました。残念ながら当時の資料はほとんど残っていませんが、「遠野物語拾遺」第22話に200人以上の修行僧がいたと伝えられています。

昭和14年に法堂跡付近に建てられた無尽堂は、老朽化が進んでいましたが、無尽和尚の座像が安置され、棟札も残されていました。



調査の様子



無尽堂と市指定史跡を示す看板

# 捨てないで！それ貴重な資料かも！？



待ちに待った春、暖かくなってきてお家の片づけにはいい季節ですよ。

そしていざ片づけると、段ボールや木箱、タンスの中から、よくわからない古いものが出てくる場合があります。

筆文字で何か書いてある古い紙…（読めない！）

古い写真…（何を写した写真かわからない！）

昔の家計簿や手帳…（いらないし、捨ててもいいのかな…？） などなど…

## そんな時はぜひ、市史編さん室にご相談ください！

虫食いがあっても、汚れていてもかまいません。

一見不用に思えるものも、遠野の歴史を教えてくれる貴重な資料かもしれません。



▲古い段ボール箱に入っていたりします



▲日記帳と古い写真アルバム（個人蔵）

こうした資料は、価値があるものに見えないことが多いため、すぐになくなってしまふ、いわば《絶滅危惧種》のようなものです。

世代交代や、住宅の建て替え、家財整理の際にぼいっと捨てられてしまい、急速に失われつつあるのです。30年前には存在していた資料が、持ち主が亡くなったり、引越したりして行方がわからなくなることも、残念ですがよくあることです。

私たちは、これらの資料が教えてくれる遠野の歴史を後世に残すため、資料を集め、調査をし、遠野市の歴史書を作っています。

どうか迷われた時には、市史編さん室へご連絡ください。切にお願いいたします。

## 連絡した後は、どうなるの？

- ①まずお宅に伺って、資料をお預かりさせていただきます
- ②どんな資料なのか調査を行い、写真撮影をして目録を作ります
- ③調査の結果をご報告し、今後の保管方法や寄贈のご要望など、ご意向に沿えるようにご相談させていただきます
- ④ご寄贈いただいた場合は、適切に保管し、市史編さん事業で活用させていただきます



個人情報等の取扱いには十分に配慮いたします。許可なく刊行物等へ掲載することはございません。